

3. 進路指導部より

「吾 十有五にして 学に志す」

中国春秋時代に生きた孔子については、皆さんも中学校の授業で学んだのでご存じですね。孔子が、自分の生涯を述懐して晩年に残した言葉に次のようなものがあります。

「吾十有五にして学に志す。三十にして立つ。四十にして惑わず。五十にして天命を知る。

六十にして耳順（したが）ふ。七十にして心の欲する所に従ひて矩（のり）を踰（こ）えず。」

弱肉強食の混乱に中国全土が巻き込まれていく時代の転換点にあつて、変わりゆく世を嘆き、国の本来あるべき姿、人のあり方を模索し続けた孔子が、晩年になって気づいたことは教育の重要性でした。三千人を超えたと言われる弟子たちを、孔子は様々な言葉をもって教え導きました。その一つがこの言葉です。

皆さんが生きるこの時代は大きな転換点にあると考えられます。特に、人類の存亡に関わる未曾有の脅威がいくつか挙げられています。例えば、地球温暖化やAIの進化、食料問題、紛争・国際秩序の乱れなどです。生徒の皆さんは、この社会の動きをしっかりと捉え、過去に学びながら人間や社会のあり方について常に理想を持ち、理想を追い求め、真理を突き詰めようとする姿勢を失わずにいたいものです。「どのような人生を選択していくのか」、その大切な第一歩となるのが高校時代であり、さらにその土台となるのが「学に志す」という決意なのだと思います。

さて、進路指導部では、上述したとおり非常に重要な皆さんの高校生活を、進路選択の視点からサポートしていきます。具体的には、各種進路情報・資料の提供、進路ガイダンスを含む進路学習の企画・実施、外部模擬試験や課外講習の企画・実施、進路相談全般を行います。進路指導も含めた面談は、基本的にはクラス担任が行いますが、迷った時や、より詳細な進路情報を知りたい時に、大いに進路指導部担当者を利用してください。また進路資料室や自習室も他校に比べて格段に充実していますので、主体性をもって大いに活用してください。

1. 進路ガイダンスについて

本校では「進路com」という名称で実施しています。様々なアドバイスや情報をもとに、自己の進路について考えていく進路ガイダンスを進路年間計画に従って実施します。この他、学年独自の進路学習会や東北大学などの難関大学を志望する生徒対象のセミナー、看護医療系進学ガイダンス、就職・公務員希望者対象の学習会やガイダンスなどを年間を通して複数回開催しています。これらのガイダンスやセミナーについては校外からも講師を招いて行っていきます。なお「進路com」の「com」は、communication、community、competency、commitmentなど対話的、共同的、主体的、継続的などの意味が込められています。

2. 課外講習について

(1) 1・2学年夏期・冬期課外講習

・長期休業期間中に、3日～5日間で実施します。

(2) 3学年進学課外講習

【第Ⅰ期】(4月中旬～県総体直前まで)

・第Ⅱ期に向けたプレ講座です。教科毎の学習ガイダンスや基礎講習を実施し、自学自習のための手助けを行います。

【第Ⅱ期】(前期中間考査後から前期期末考査1週間前まで)

・主に記述力の養成に重点を置いた内容です。

・月～金(各70分1コマ)・土曜(70分3コマ)5教科で実施します。

・英数国については難関大志望から地方私大志望までの多様な生徒の志望および学力に対応したきめ細かな講習を行います。

・理社について、共通テストレベルを基本とします。2次試験(記述)対策にも配慮しています。

【第Ⅲ期】（前期期末考査後から後期中間考査1週間前まで）

- ・第Ⅱ期と同じ内容で実施します。月曜と水曜は2コマに増えます。

【第Ⅳ期】（後期中間考査後から共通テスト直前まで）

- ・大学入学共通テスト対策としてタイムトライアル形式での演習および解説を行います。

【第Ⅴ期】（大学入学共通テスト後から国公立大学後期試験まで）

- ・国公立大学個別試験（記述）対策を実施します。志望校ごとに各教科の担当者を配置し講義もしくは個別指導形式で行います。
- ・2月の家庭学習期間における講義については1・2年生の授業と並行して午後の時間帯に設定して行います。
- ・県内私大を中心とする私大集中対策課外も開講します。

(3) その他の課外講習

- ・3学年では大学進学課外その他、看護専門学校対策課外（英数）や公務員課外（適性試験・一般知能問題対策）、民間就職用SPI対策講座なども実施しています。

以上のように本校では、きめ細かな課外講習を実施していますが、学力向上の基本はあくまでも日々の授業および家庭での学習であることを忘れないでください。

3. 模擬試験について ※1年次に予定されている主なもののみ紹介します。

- ・ベネッセ・スタディーサポート（4月・8月 全員対象）

一般的な模擬試験とは異なり、英数国の学力を確認するテストに加えて学習習慣や希望進路などの多角的な調査によって、進路目標や学習目標に向けて自己分析をしていくための個人診断レポートが届きます。

- ・進研模試（7・11月・1月 全員対象）

生徒一人ひとりの学力状況を生徒自身が全国規模で確認できる模擬試験です。本校では、「学力分析com」という名称で、模試の結果を詳細に分析し皆さんに還元する集会を年4回実施しています。この模擬試験を受験することで算出される全国偏差値や学力の推移は、みなさんの進学先（志望校）を考える上で重要な手がかりとなります。

- ・全統記述模試（8月・11月・1月 希望者対象）

大手予備校の河合塾・駿台予備校が主催する全国規模の模擬試験です。進研模試に比べ難易度が高いですが、その分、実際の大学入試レベルに近いともいえます。また進研模試とは異なり、実施している高校がおもに中堅以上の進学校であることも大きな特徴です。全国偏差値も厳しく出ますが、その分実力が試されます。

4. ベネッセ・スタディーサポートについて

4月10日（金）にスタディーサポートを実施します。これは学習・生活習慣を調査する「学習状況リサーチ」と基礎学力の到達度を測定する「学力リサーチ（マーク式）」からなり、全ての学年で実施しているものです。このうち、今回配付したスタディーサポート活用BOOKは「学力リサーチ」に向けての対策問題集になっているものです。なお、スタディーサポート活用BOOKはテスト実施後、提出となります。